



令和3年度産タンカン
品質良好で出荷終了



J A種子屋久管内で3月上旬、令和3年度産タンカンの出荷が終了しました。今期は61鉢で栽培し、出荷量は434トとなりました。天候にも恵まれ、生育良好で、着色・糖度ともに高品質の仕上がりになりました。出荷されたタンカンは、JAぽんたん館や地元のAコープ、直販などで販売。県外からも多くの注文を受けるなど人気を集めました。

入学おめでとうございます
新一年生へ文房具を寄贈



J A種子屋久は4月3日、地域貢献への取り組みとして、管内1市3町の小学校の新1年生約350人へ入学記念品の文房具セットを贈りました。鮫島忠雄組合長が西之表市教育委員会を訪問し、佐藤秀正教育長へ目録を手渡ししました。佐藤教育長は「毎年、児童のために寄贈していただき感謝しています」と謝辞を述べられました。

花きの安定出荷に向けて
各地区で花き目揃え会を開催



J A種子屋久花き振興会は4月下旬、各地区で花き目揃え会を開催しました。花き取り扱いの円滑化と商品性の向上を図り、市場における信頼度を高め、有利販売につなげることが狙いです。JA長谷集荷所では、振興会役員や生産者、JA職員など36人が出席。参加者らは、安定出荷に向けて検査基準や荷づくりの出荷要領などを再確認しました。

「種子島安納いも」
GI登録をJAへ報告



一般社団法人種子島安納いもブランド推進本部と種子町園芸振興会は4月13日、種子島で栽培されている安納いもが地理的表示(GI)保護制度に登録されたことを受け、JA鮫島忠雄組合長へ報告を行いました。同本部の松田憲政事務局長と同振興会の田中満男会長が登録証を鮫島組合長へ手渡し、田中会長は「ブランド力向上に向けて生産技術の向上に努めていきたい」と話しました。



【全体運】前半は頭の痛い問題が多いものの下旬には解決の兆し。焦らずできるだけ余裕を持って動けるよう計画を立てて
【健康運】カルシウムたっぷりのメニューがお勧め
【幸運を呼ぶ食べ物】ワラビ